



「へたでよい、へたがよい」がモットー

町民会館にて



横瀬町議会だより

No.87 2010.7.15発行



よこぜ絵手紙サークル
〔会員15名 代表 大野政子〕

よこぜ絵手紙サークルでは月2回、^{ぬりや}塗矢邦夫先生の指導のもと、絵と文を楽しみながら描いています。

「へたでよい、へたがよい」をモットーに、相手の気持ちに伝わる作品を心がけています。

三芳町議会・新座市議会
を視察

8

一般質問
5名が登壇

5

議長・副議長が改選

2

5月臨時会・6月定例会

議会を傍聴しませんか

次回の定例会は9月の予定です

お問い合わせ 議会事務局 (TEL0494-25-0119) へ

環境保護のため再生紙を使用しています

発行：横瀬町議会 編集：議会だより編集委員会

〒368-0072 埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬4545番地 TEL 0494-25-0119 FAX 0494-23-9349

町民の皆と心と協働で

総務文教厚生常任
委員長が改選により
交代

安心安全な
町づくりを
進めていきます

議長就任のあいさつ

横瀬町議会議長 関根 修



議長 関根 修



副議長 若林スミ子

去る五月の臨時議会において、再度議長に推挙いただき、まことに身に余る光栄であります。衷心より感謝申し上げます。衷心より感謝申し上げますとともに、この責任の重さを痛感いたしております。もとより浅学非才な身であります。本町の発展のために誠心誠意努力をいたす覚悟であります。

さて、私は、日ごろより秩父地方の強い協力関係が必要であると感じてまいりました。そのためには、秩父地域における各市町村間の十分な意思の疎通が不可欠であります。幸いに、秩父地域において定住自立圏形成協定による共生ビジョンの策定により具体

的な協力関係ができております。これを機にさらに秩父地域の各議会間の交流を図り、各行政機関の「信頼」の構築に努める所存であります。

また、地方自治の精神を踏まえ、公正無私の立場を堅持し、町民の皆さんと協働し、町政に取り組んでまいれる所存であります。

結びに、本町議会は、執行部とともに、町民の福祉の向上を目指し、安心安全な町づくりを進めてまいります。ぜひとも関係各位の皆様のご協力を心よりお願いし、議長就任のあいさつといたします。

平成22年5月19日

新任 議会事務局長



富田 等局長

よろしく申し上げます



総務文教厚生常任委員長
藤澤治美

5月臨時会において、若林スミ子総務文教厚生常任委員長が副議長に当選したため、委員長が空席となりました。

互選により後任として藤澤治美議員が委員長、副委員長に若林スミ子議員が選任されました。

専決処分

子ども手当創設により条例を改正

専決処分

横瀬町税条例の一部を改正する条例

町たばこ税率アップを承認

子ども手当を支給する財源として、16歳未満の扶養親族に対する控除(33万円)と16歳〜19歳未満の上乗せ部分(12万円)を廃止するとして地方税法の改正により、町税条例の改正が必要になりました。

この改正により、保育料・私立幼稚園就園奨励費・国保税・介護保険料など、さまざまな制度が影響を受けることとなります。

また、平成24年度から実施される新たな申告は「個人の町民税に係る給与所得者の扶養親族申告書」と「個人の町民税に係る公的年金等受給者の扶養親族申告書」です。子ども手当は平成22年度の限定法ですが、廃止された控除分が元に戻るか、続行かは、はっきりしていないのは不安であり、よく見守る必要があります。

このように改正されます

1. 町たばこ税率アップを承認しました。平成22年10月1日実施です。
2. 非課税口座内上場株式等の譲渡に係る町民税の所得計算の特例
- (1) 口座100万円以内とし、少額取り引きに配慮した改正です。
- (2) 固定資産税の経過措置 平成22年度以後分に適用します。

専決処分

横瀬町国民健康保険条例の一部を改正する条例

秩父郡市に先駆けて低所得者への減額改正

子ども手当の支給による町国民健康保険条例の改正に伴い、国民健康保険税医療分課税額の基礎課税額に係る課税限度額については、現行47万円を50万円とし、後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額は、12万円を13万円としました。これにより町民負担は、全体で約70万円増となりますが、一方、秩父郡市に先駆けて低所得者への減額改正をいたしました。

このように改正されます

1. 総所得金額及び山林所得合算額が35万円を超えない世帯は、被保険者均等割額、世帯別平等割額、被保険者均等割額を7割減としました。

2. 総所得金額及び山林所得合算額33万円に被保険者(世帯主除く)1人につき24万5000円を加算した金額以下の世帯は、被保険者均等割額、世帯別平等割額、後期高齢者支援金等課税額・被保険者均等割額、介護納付金課税に係る被保険者均等割額を5割減としました。

3. 総所得金額及び山林所得合算額33万円に被保険者(世帯主除く)1人につき35万円を加算した金額以下の世帯は、被保険者均等割額、世帯別平等割額、後期高齢者支援金等課税額・被保険者均等割額、介護納付金課税に係る被保険者均等割額を2割減としました。

4. 特例対象被保険者について非自発的失業者に対する軽減で、前年の給与所得を100分の30とみなして算定する改正です。

以上の改正により、町負担は約180万円となります。



特別交付税の配分イメージ

秩父市 3,500万円+1,000万円 + 横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町 (1,000万円+1,000万円) × 4町分 =8,000万円 = 総合計 1億 2500万円

※200万円は各自治体からの持ち出し

秩父広域市町村圏組合から配分される項目

①救急車の機能向上

②救急輪番補助の割り増し

救急体制維持のための
主要4病院選択メニュー

Aメニュー (初期救急に関する内容)

③Bメニュー (医師・医療スタッフに関する内容)

④救急輪番担当病院周
での休日準夜帯の薬局
の開設

⑤救急患者に対するリハ
ビリテーション体制の
充実

秩父郡市医師会

配分される予定の内容 (数字は上記の番号をごらんください)

消防組合

①

秩父市立病院・秩父病院・皆野病院

②+③

小鹿野中央病院

③

薬剤師会

④

秩父生協病院

⑤

主な質疑

6月定例会で出された

《5月臨時会》

提出議案と審議結果

専決処分承認

■平成21年度補正予算

・一般会計

・後期高齢者医療特別会計

■条例の一部改正

・横瀬町税条例

・横瀬町国民健康保険税条例

以上、可決

■人事

・横瀬町公平委員会委員に

村越文雄氏を選任 (選任に同意)

欠員が生じたため

《6月定例会》

■補正予算

・平成22年度横瀬町一般会計

■条例の一部改正

・横瀬町職員の育児休業等に関する

条例

・横瀬町職員の勤務時間、休日およ

び休暇に関する条例

■規約の変更

・埼玉県市町村総合事務組合の規約

■その他

・彩の国さいたまづくり連合を組

織する地方公共団体の数の減少に

ついて

・埼玉県後期高齢者医療広域連合を

組織する地方公共団体の数の減少

について

以上、可決

■人事

・横瀬町公平委員会委員に

小泉和夫氏を選任 (選任に同意)

9月13日で任期満了となるため

・人権擁護委員候補者に

村越久雄氏を推薦 (選任に同意)

9月30日で任期満了となるため

ちちぶ定住自立圏共生ビジョンが策定

医療分野に重点配分

6月定例議会にて、一般会計で横瀬町負担分を補正

定住自立圏全体を対象として、当該圏域の将来像や、定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取り組みを記載した「ちちぶ定住自立圏共生ビジョン」が策定されました。

これによると、平成22年度、平成23年度は、秩父地域の医療体制の弱体化が懸念されていることから、定住自立圏構想の特別交付税枠（1年間で1億2,500万円分）を2年間の期間限定で重点的に医療分野に振り分けることになりました。

医療の確保は地域社会にとって最重要課題であり、横瀬町としても秩父地域の一員としてその責務を果たさなければならない状況が現実であると考えます。

その内容は、当圏域で締結済みの「医師・医療スタッフの確保及び負担軽減」「緊急医療体制の充実」「リハビリテーション体制の確立」の3項

目で、具体的事業として「救急車の機能向上」「救急輪番病院運営費補助金の割増」「救急体制維持のための主要4病院選択メニュー（A・Bメニュー）」「救急輪番担当病院周辺での休日準夜帯の薬局の開設」「救急患者に対するリハビリテーション体制の充実」の6事業に対し重点的に配分します。今回の定例会において1,800万円が横瀬町負担分として補正されました。（横瀬町の負担は2,000万円ですが、1,800万円は国より交付され実質200万円の持ち出しとなります）

右の図は定住自立圏特別交付税枠の配分のイメージです。



問 人口減が顕著だが、原因と人口増対策をどうするか。企業誘致が難しい中、自然環境を生かし、福祉で生きる道を考えてはどうか。

答 町長・副町長 町の人口は平成12年から見ると736人減り、本年度4月は9275人です。少子化は全国的な傾向であり、人口減は定住自立圏構想による秩父地域の連携により、

魅力があり、絆の強い、希望に満ちた町となるよう努めていきます。

課題となっている医療は、定住自立圏構想の中で取り組んでいきたい。

また、町営住宅は子育て向きか、高齢者向けか検討していきます。いずれにしても安心して住める地域が一番すばらしいと考えています。

人口対策

A 秩父地域の連携により取り組んでいきます

Q なぜ、人口増対策は？

大野隆雄議員

一般質問 町政を問う

6月定例会

◆ごみ袋代の値下げ・無料化は

問 町は広域組合にごみ処理事業費8000万円余を負担し、地方交付税も交付され、かつ町民はごみ袋代を払っている。広域組合の借金も大幅に減る状況なのだからごみ袋代は値下げか無料にできないのか。



答 振興課長・まち経営課長 町のごみ処理事業費負担は、ここ10年間、年平均8700万円払っています。平成21年度の地方交付税の清掃費は概算で約4786万円入っています。また、広域組合のクリーンセンター建設費などの借金返済は平成23年度約5億7860万円だったが平成24年度は約4600万円となり一区切りつきます。

問 町長 負担軽減の声が多数寄せられ、組合管理者（秩父市長）としては、ごみ袋は今年度中の値下げについて検討したいとのこと。

道路

Q 町の道路管理について

A 町公共物管理条例の規定に基づき管理しています

藤澤治美議員

問 赤道と言われている道路の管理は、どのようになっているのか。

答 建設課長 赤道とは明治時代以前に自然発生的に形成されていたか、地域の住民によってつくられた里道等で、明治初期の公図では



地域住民が通る赤道

赤く塗られていたことからこう呼ばれ、いわゆる地図上の表記の俗称です。現在の公図上で「道路」と標示されている部分であり、以前は国有財産でしたが、地方分権一括法により身近な市町村で管理するという施策が展開され、当町も平成15年までに所有権を取得したことから、町条例に基づき財産・機能管理を行なっています。

しかし、これらは町内全域を網羅しているため、管理者だけでなくすべて管理するの

は到底無理なことから、以前より地区の皆様さんに道路・河川清掃等で維持・修繕の機能管理の一部をご協力いただいできており、今後も町と地域が一体となった管理をお願いしたいと思います。

◆根古屋城址公園の将来像について

問 根古屋城址公園を町のさらなる観光促進に役立てるための将来像を問う。また、駐車場はどうか。

答 振興課長 自然の地形を利用した砦状の城址であり、西の郭、東の郭、山頂の郭

の3カ所のポイントを結んで、平成20年度に遊歩道整備をしました。現在、ここは埋蔵文化財の包蔵地に指定されています。城址という歴史的な文化財ですので、調査の結果が出なければ観光に結びつけていくことはできません。

なお、駐車場は根古屋コミュニティ広場の一部にくる予定です。

答 教育次長 平成21年度の発掘調査の結果は、「広報よこぜ4月号」に掲載しています。今年度も発掘調査を行なっています。その結果、今後の方向性が出てくると思います。

子育て

Q 子育て支援について

A 新たな支援対象として200名増えました

若林スミ子議員

問 本年4月から児童手当にかわる子ども手当が支給されますが、年齢制限が中

学三年生終了までとなり、所得制限はなしということ、新たに対象となる人数



横瀬町の子ども手当対象者は 688 名

は何人くらいになるか。また、事務手続の状況を伺う。

答 いきいき町民課長 当町の子ども手当の対象者は、688名で、そのうち、年齢拡大で、12歳までが15歳になったことにより児童手当のときより対象が約200名増加しました。その方々には認定請求書を提出していただきます。

なお、9月30日までに手続をすれば、さかのぼって4月分から支給されます。

◆乳がん検診等の無料化の継続は

問 女性特有の乳がん、子宮頸がん検診無料クーポン券配布事業は継続して実施していただけるか伺う。

答 健康づくり課長 昨年度から対象年齢を決め、検診無料クーポン券を配布し、検診率アップを図っています。当事業の23年度以降の実施継続については、23年度予算編成の折に検討します。

○その他の質問 子宮頸がん予防ワクチン接種の公費負担について、口蹄疫対応について

人口

Q ふるさと意識の醸成は

A ふるさと教育に、より一層努めていきたい

大野 守議員

問 今春の秩父地域にある高等学校はすべて定員割れとなりました。卒業生の3割は秩父地域外へ行く。

人口も経済も減少の一途をたどってしまいが、この事実をどのように受け止めているのか。また、ふるさと意識の醸成はどうか。

答 教育長 学区を全廃したなどの制度上のももあり、現状は難しい。親の「少しでもよい高校へ」という考えも反映していると思う。副読本や総合学習などで「ふるさと教育」をなお一層努めていきたいと思えます。



オープンガーデン No.28 若林氏の庭

◆オープンガーデンの拡大は

問 オープンガーデンは礼所と並んで観光の目玉となりうると思う。まだまだ増える要素があると期待している。町中にもっと広げられないか。

答 振興課長 都合上、横瀬町観光協会と町とで協議し、平成23年度までには今の軒数でいきたい。行政としても期待しています。

問 芝桜の時間外来園者についでには公園なので厳格にせず、おもてなしの心で実施できないか。

答 振興課長 今年の実省点を踏まえて実行委員長に提案してみます。

小泉初男議員も一般質問をしましたが、原稿提出がなかったため、質問のみ掲載します。

質問

○これからの町づくりについて

5年、10年、20年、50年後の町のイメージ、構想、ビジョンを、具体的な思案をお尋ねいたします。

また、町づくり方針の、短期・中期・長期の計画について、お尋ねいたします。



知ってください! 議会活動



三芳町議会・新座市議会

休日議会等開催で開かれた議会運営

行政視察

- 1. 視察日 平成 22 年 5 月 25 日 (火)
- 2. 場 所 埼玉県三芳町議会・新座市議会
- 3. 目 的 開かれた議会運営と議会活動の活性化を図り、住民の議会傍聴の機会を増やすための調査
- 4. 参加者 議員 9 名 議会事務局 2 名



視察御礼挨拶をする議長（新座市議会にて）

三芳町・新座市の両議会では、住民の議会傍聴の機会を増やすために、休日・夜間帯に議会開催日を取り入れる工夫をし、議員の一般質問だけではなく行政運営を知る上で不可欠な予算や、事業の推進等、活発に質疑されるよう勉強しています。

議会の規模も各自治体で異なるので一概に同じようにはいかないと感じましたが、住民の信頼を受けて働いている以上、活発な議会運営

が望まれると感じました。

当町でも住民生活に密着した課題が出たときには関心度も高く、傍聴に見える方々も多かったようです。

今後も議会一丸となって実施できるよう試行錯誤を重ねていきます。

視察報告 若林スミ子

平成21年度 人権標語特選作品

町づくり・家族のふれあい部門

こんにちは 明るいあいさつ 地域の輪

石橋秀人 (横中 3 年)

あいさつで つながれひろがれ えがおのわ

岩川敏幸 (横小 3 年)

花も咲く 人も明るい 町づくり

千島典子 (一般)

おはようの あいさつとびかう 元気な横瀬

浅見皓也 (横小 5 年)

議会だより編集委員会

- 委員長 藤澤 治美 
- 副委員長 若林スミ子 
- 委員 新井 勝之 
- 委員 大野 隆雄 
- 委員 町田勇佐久 
- 委員 若林新一郎 

鳩山政権の崩壊により、副総理、財務相を務めていた菅直人氏が新首相に指名され、菅内閣が発足した。首相交代により今後の日本の政治がどのように変わっていくのか注意深く見極めたいと思うが、まず国債の増発をやめること。国債の増発は後世にツケを回す以外の何物でもないからだ。この議会だよりが届くころには参院選は終わっていると思うが、選挙公約については財源の裏付けがあるかどうか、実現可能かどうかを検討し、選挙目当てではない政策を期待したい。私たちが求めたいのは、本当に国や国民を愛し、熱く政策を語る政治家であり、そんな人に一票を投じたい。

議会だより編集委員の大野守議員が都合により辞任され、新たに若林新一郎議員が加わりました。(A)

編集後記

